

各 位

2017年4月5日

ダイビル株式会社

「新ダイビル 堂島の杜」 シージェス “SEGES：都市のオアシス” に認定

この度、「新ダイビル 堂島の杜」が都市における優れた緑地を対象とする「SEGES（シージェス、社会・環境貢献緑地評価システム）：都市のオアシス」（主催：公益財団法人都市緑化機構）に認定されました。

「SEGES：都市のオアシス」は、猛暑やヒートアイランド現象等で悪化する都市環境において、人々にとって安らぎと憩いの貴重な空間となっている緑地を認定するものです。

「新ダイビル 堂島の杜」は、「人だけでなく生物にとってもやさしい森」をコンセプトとした約1,000坪の緑地です。認定にあたっては、生物多様性に配慮し都市部において希少な緑量感のある自然な森を創出したことや、建替前の旧新ダイビル屋上樹苑から樹齢約50年のケヤキやモミジを移植し、「樹木」と森づくりの「精神」を継承したことなどが高く評価されました。

ダイビルは今後も、環境負荷の低減に配慮した開発に取り組み、都市と自然が調和した環境との共生ができる優しいまちづくりに努めてまいります。



新ダイビル外観



堂島の杜

News Release

■「新ダイビル 堂島の杜」の特色

鳥や蝶など様々な生き物が生息する森づくりを目指して設けた約1,000坪の緑地です。

ここには、建替前の旧新ダイビル（1958年竣工）屋上樹苑から樹齢約50年のケヤキやモミジを移植したほか、地域本来の自然をお手本として、ケヤキやムクノキ、クロモジなどの在来種を中心とした植栽を行っています。これらの取組みが評価され、公益財団法人日本生態系協会による生物多様性の保全や回復に資する取組みを評価する「JHEP認証」において、最高ランク「AAA」を取得しています。

■「新ダイビル」の特色

（1）省エネルギー性能

東西面3.2m、南北面1.8mの大庇により開放的な眺望や明るさを確保しながら直射日光を遮蔽することで、空調負荷を抑制し照明電力を削減します。加えて、LED照明・自動調光システム・人感センサー・外気冷房の導入など様々な取組みを行い、標準的なオフィスビルと比較してエネルギーの消費量を約50%削減することが可能です。

（2）BCP対策

建物の構造には地震時の揺れを軽減するオイルダンパーを配置した制振構造を採用し、高い耐震性能を実現しています。また、停電対策として、非常用発電機（72時間対応）から防災設備やトイレなどに加え貸室にも一定量の電力供給ができる仕様としています。更に、貸室には自然換気システムを設置しており、空調停止時でも外気を取り入れることができます。

（3）オフィス空間

柱を窓の外に出すことにより1フロア500坪近い完全無柱空間を実現しており、デッドスペースのない効率的なレイアウトが可能です。貸室内の空調は1フロア57ゾーンに細分化されており、入居者の細かいニーズにも対応します。

■新ダイビル 建築概要

- 所在地：大阪市北区堂島浜1-2-1
 用途：事務所・店舗・駐車場
 規模：地上31階・地下2階・塔屋3階
 構造：鉄骨造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造、
 鉄筋コンクリート造）
 延床面積：77,388㎡（23,410坪）
 最高高さ：148m
 設計監理：(株)日建設計
 施工：(株)大林組
 竣工：2015年3月16日

